

なんしん ミニディスクロージャー 2018

平成30年9月30日現在

REPORT



あなたの街のふれあいバンク。
 南郷信用金庫

ごあいさつ



理事長
阿部 政 廣

皆さまには、平素より「なんしん」をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。

本年も当金庫についてのご理解を一層深めていただくため、半期ディスクロージャー誌を作成しましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、当金庫は大正15年11月に創業以来、協同組織金融機関としての理念に基づいて、地域社会の発展と住民生活の向上を願い、地域に密着した経営を基本とした業務運営を行っております。

おかげさまで業績も順調に推移し、これもひとえに会員をはじめお取引いただいている皆様の温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

今後も当金庫の経営理念に基づいた取組みを通じて、地域社会の「豊かな未来」を目指し、役職員一同、努力してまいりますので、一層のご支援とご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成30年11月

当金庫の基本的な考え方



経営理念

- ① 地域に根ざし、地域とともに歩むことを基本とする
- ② 明るい豊かな社会・経済・文化の発展に貢献する
- ③ 健全経営に徹し、地域に欠かせない金庫となる

当金庫の持つ「思いやり」と「信頼」をさらに強化し、会員をはじめ地域の方々と連携して「豊かな未来」を目指します。

経営方針

- ① 経営力・内部態勢の深化×進化
- ② 支援力・営業力の深化×進化
- ③ 人材力・組織力の深化×進化

当金庫のプロフィール（平成30年9月30日現在）



・会員数	14,938人	・役職員数	109人
・出資金	4億66百万円		
・預金	810億17百万円		
・融資	366億78百万円		

信用金庫の事業年度は、信用金庫法に基づき4月1日から翌年3月31日と定められており、正式な決算につきましては毎年3月31日に行っております。「なんしん ミニディスクロージャー2018」（平成30年9月30日現在）は、平成30年3月末の実績を基準にして9月末までに、それぞれの項目毎において増加・減少した数値を取りまとめたものであり、正式な決算によるものではありません。

1. 預金・貸出金の状況

■業績等の推移

	平成30年3月末	平成30年9月末	平成30年3月末比増減
預 金 残 高	80,342	81,017	675
流動性残高	26,631	27,254	623
定期性残高	53,711	53,762	51
貸 出 金 残 高	37,088	36,678	△410
預 貸 率	46.2%	45.3%	△0.9%

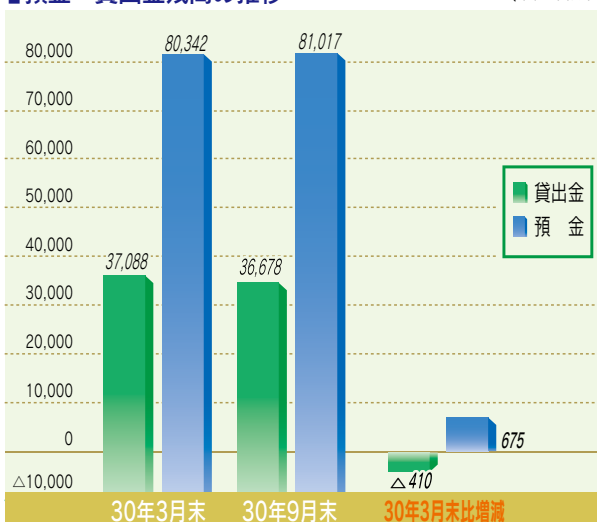
〔解説〕

預金については、平成30年3月末比で675百万円増加し、対前年同月比では162百万円増加しました。

貸出金については、地域経済の停滞により、資金需要の減退傾向が続く中、事業性融資の推進並びに個人向けローンの推進に努めました。平成30年3月末比で410百万円減少しました。

■預金・貸出金残高の推移

（単位：百万円）



業種別の貸出金残高と構成比

(単位:百万円、%)

	平成30年3月末			平成30年9月末		
	貸出先数	貸出金残高	構成比	貸出先数	貸出金残高	構成比
製 造 業	50	1,319	3.6	50	1,250	3.4
農 業、林 業	68	751	2.0	78	796	2.2
漁 業	24	151	0.4	18	53	0.1
鉱 業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—	—	—
建 設 業	136	1,432	3.9	135	1,362	3.7
電気・ガス・熱供給・水道業	13	1,141	3.1	12	938	2.6
情 報 通 信 業	—	—	—	—	—	—
運 輸 業、郵 便 業	6	99	0.3	6	91	0.2
卸 売 業・小 売 業	102	1,511	4.1	101	1,510	4.1
金 融、保 険 業	4	636	1.7	4	336	0.9
不 動 産 業	91	6,213	16.8	90	6,200	16.9
物 品 賃 貸 業	3	109	0.3	3	124	0.3
学術研究、専門・技術サービス業	6	36	0.1	6	36	0.1
宿 泊 業	13	249	0.7	11	242	0.7
飲 食 業	57	454	1.2	55	438	1.2
生活関連サービス業、娯楽業	25	695	1.9	26	660	1.8
教 育、学 習 支 援 業	5	76	0.2	4	70	0.2
医 療・福 祉 社	23	861	2.3	22	839	2.3
そ の 他 の サ ー ビ ス	63	995	2.7	67	1,071	2.9
小 計	689	16,735	45.1	688	16,024	43.7
地 方 公 共 団 体	5	4,820	13.0	4	5,121	14.0
個人(住宅・消費・納税資金等)	7,875	15,532	41.9	7,784	15,532	42.3
合 計	8,569	37,088	100.0	8,476	36,678	100.0

(注)金額については、百万円未満を切り捨てて表示していますので、それぞれの合計金額は各項目の額と必ずしも一致しない場合があります。

2. 損益の状況

(単位:百万円)

項 目	平成30年9月末
経 常 収 益	745
業 務 純 益	69
コ ア 業 務 純 益	70
経 常 利 益	116
当 期 純 利 益	78

【解説】

取引先の経営改善支援の強化及び不良債権の新規発生防止に努めた結果、経常利益を116百万円計上しました。

また、当期純利益を78百万円計上し、健全な経営を維持できる収益を確保することができました。

*コア業務純益とは業務純益から一時的な変動要因(国債等債券関係損益等)を除いた金額に一般貸倒引当金を加算した金庫の本来業務での収益力を表す指標です。

*上記計数につきましては、監査法人による監査を受けておりません。

自己資本の状況

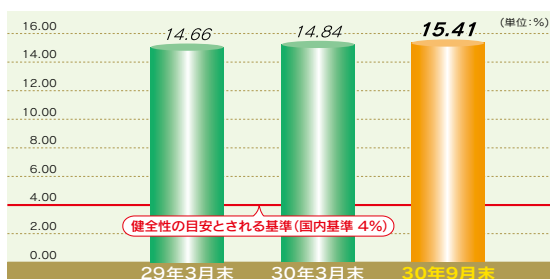
自己資本比率は、金融機関の健全性・安全性をはかる重要な経営指標のひとつです。
信用金庫など国内で業務を行う金融機関は、4%以上の自己資本比率が求められています。
当金庫の自己資本比率は15.41%となっており、国内基準を大きく上回る堅実な水準となっております。

自己資本比率 (国内基準)

(単位:百万円)

項 目	平成30年3月末	平成30年9月末	平成30年度増減
自 己 資 本 の 総 額	5,334	5,383	49
リスク・アセット等の合計額	35,923	34,928	△995
自 己 資 本 比 率	14.84%	15.41%	0.57%

自己資本比率



【解説】

- 自己資本の総額は平成30年3月末に比べ、49百万円増加し、対前年同月比では33百万円増加しています。
- 自己資本比率は、平成30年3月末に比べ、0.57%増加し、対前年同月比では0.65%増加しています。
- 自己資本の総額は、5,383百万円となっており、総所要自己資本額1,397百万円を大幅に上回っております。
(総所要自己資本額 = リスク・アセット等の合計額 × 4%)

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の総額}}{\text{信用リスク・アセット} + \text{オペレーショナル・リスク・アセット}} = 15.41\%$$

(注)①自己資本比率算出法は「出資金」、「諸積立金」などの自己資本の総額を分子として、「資産のリスクに応じて算出(資産 × リスク・ウエイト)したリスク・アセット合計額」及び事務事故、システム障害等で損失が生じるオペレーショナル・リスクを分母として算出されます。
②金額については、百万円未満を切り捨てて表示しています。

バーゼルⅢに係る定量情報

■ 1. 自己資本の構成に関する事項

(単位:百万円)

項 目	平成30年3月末		平成30年9月末	
		経過措置による 不算入額		経過措置による 不算入額
コア資本に係る基礎項目 (1)				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	5,282		5,361	
うち、出資金及び資本剰余金の額	467		466	
うち、利益剰余金の額	4,824		4,894	
うち、外部流出予定額 (△)	9		—	
うち、上記以外に該当するものの額	—		—	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	49		19	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	49		19	
うち、適格引当金コア資本算入額	—		—	
適格旧資本調達手段の額のうち、経過措置 (自己資本比率改正告示附則第3条第7項) により コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、 経過措置 (自己資本比率改正告示附則第4条第3項) によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、経過措置 (自己資本比率改正告示附則第5条第5項) によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	5		5	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	5,337		5,386	
コア資本に係る調整項目 (2)				
無形固定資産 (モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	3	0	2	0
うち、のれんに係るものの額	—	—	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	3	0	2	0
繰延税金資産 (一時差異に係るものを除く。)の額	—	—	—	—
適格引当金不足額	—	—	—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—	—	—
前払年金費用の額	—	—	—	—
自己保有普通出資等 (純資産の部に計上されるものを除く。)の額	—	—	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—	—	—
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	—	—	—	—
信用金庫連合会の対象普通出資等の額	—	—	—	—
特定項目に係る10%基準超過額	—	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	—
うち、繰延税金資産 (一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—	—	—
特定項目に係る15%基準超過額	—	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	—
うち、繰延税金資産 (一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	3		2	
自己資本				
自己資本の額 ((イ) - (ロ)) (ハ)	5,334		5,383	
リスク・アセット等 (3)				
信用リスク・アセットの額の合計額	33,507		32,512	
資産 (オン・バランス) 項目	33,224		32,241	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 1,794		△ 890	
うち、調整項目に係る経過措置 (自己資本比率改正告示附則第8条第6項) により、なお従前の例に よるとしてリスク・アセットが適用されることになったものの額のうち、無形固定資産 (のれん及び モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)に係るものの額	0		0	
うち、調整項目に係る経過措置 (自己資本比率改正告示附則第8条第6項) により、なお従前の例に よるとしてリスク・アセットが適用されることになったものの額のうち、繰延税金資産に係るものの額	—		—	
うち、調整項目に係る経過措置 (自己資本比率改正告示附則第8条第6項) により、なお従前の例に よるとしてリスク・アセットが適用されることになったものの額のうち、前払年金費用に係るものの額	—		—	
うち、他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置 (自己資本比率改 正告示附則第12条第5項又は第6項) を用いて算出したリスク・アセットの額から経過措置を用いず 算出したリスク・アセットの額を控除した額	△ 1,816		△ 912	
うち、上記以外に該当するものの額	21		21	
オフ・バランス取引等項目	282		270	
CVAリスク相当額を8%で除して得た額	0		0	
中央清算機関関連エクスポージャーに係る信用リスク・アセットの額	0		0	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	2,416		2,416	
信用リスク・アセット調整額	—		—	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—		—	
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	35,923		34,928	
自己資本比率				
自己資本比率 ((ハ) / (ニ))	14.84%		15.41%	

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するために金融庁長官が定める基準に係る算式に基づき算出してあります。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

2.有価証券の時価情報

(1) 売買目的有価証券 売買目的の有価証券は保有しておりません。

(2) 満期保有目的の有価証券

(単位:百万円)

	種 類	平成30年3月末			平成30年9月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	—	—	—	—	—	—
	短 期 社 債	—	—	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	297	305	7	297	304	7
	小 計	297	305	7	297	304	7
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	—	—	—	—	—	—
	短 期 社 債	—	—	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	300	289	△10	200	189	△10
	小 計	300	289	△10	200	189	△10
合 計		597	594	△2	497	494	△2

(注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

(3) その他保有目的の有価証券

(単位:百万円)

	種 類	平成30年3月末			平成30年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	—	—	—	—	—	—
	債券	15,643	15,233	409	13,912	13,562	350
	国債	2,908	2,799	108	2,891	2,799	92
	地方債	4,278	4,151	126	4,119	4,009	109
	短期社債	—	—	—	—	—	—
	社債	8,456	8,281	174	6,901	6,753	148
	その他	3,319	3,106	212	3,024	2,804	220
	小 計	18,962	18,340	622	16,937	16,366	570
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	—	—	—	—	—	—
	債券	1,084	1,089	△4	2,829	2,839	△10
	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	70	71	△0	398	399	△0
	短期社債	—	—	—	—	—	—
	社債	1,014	1,018	△4	2,430	2,440	△9
	その他	1,122	1,154	△32	1,714	1,749	△34
	小 計	2,207	2,244	△36	4,543	4,588	△44
合 計		21,169	20,584	585	21,480	20,954	525

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

(4) 子会社・子法人等株式及び関連法人等株式で時価のあるもの

該当する株式はありません。

(5) 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位:百万円)

	平成30年3月末	平成30年9月末
	貸 借 対 照 表 計 上 額	貸 借 対 照 表 計 上 額
市 場 価 格 の 無 い 株 式 7 社	6 1	6 1

【解説】

国内債券におきましては、市場金利が低位にて推移していることから340百万円の評価益、外国証券や投資信託におきましては、株価の上昇や円安の影響により、評価益は185百万円、合計では525百万円の評価益となりました。

【債券の利回りと時価の関係】

債券市場において、利回りが上昇すると債券の時価は下がり、含み益が減少（含み損は増加）します。
また、逆に利回りが低下すると債券の時価は上がり、含み益は増加（含み損は減少）します。

金融再生法によるリスク債権

金融再生法に基づき開示された債権であり、当金庫の場合、貸出金のほか債務保証見返、未收利息、仮払金を含んだ債権です。

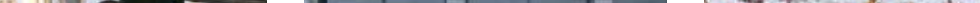
金融再生法開示債権及び保全状況

(単位:百万円)

	平成30年3月末					平成30年9月末				
	総与信額	保全状況			保全率	総与信額	保全状況			保全率
		担保・保証	貸倒引当金	計			担保・保証	貸倒引当金	計	
破綻更生債権及びこれに準ずる債権	731	604	126	731	100.0%	679	553	125	679	100.0%
危 険 債 権	701	470	127	597	85.2%	681	455	124	579	85.1%
要 管 理 債 権	427	269	29	298	69.9%	452	245	2	247	54.7%
金融再生法上の不良債権計	1,860	1,343	283	1,627	87.5%	1,812	1,254	251	1,505	83.1%
正 常 債 権	35,630	不良債権比率 4.96%				35,252	不良債権比率 4.89%			
合 計	37,491					37,065				

※単位未満切り捨てのため合計が一致しない場合があります。

【解説】 当金庫では、経営の健全性を堅持するため、自己査定基準に則った自己査定を実施し、厳正な債務者区分の見直しを行っております。また、不良債権につきましては、十分な引当金を計上しており、安全性を確保できている内容と考えております。



飫肥城下まつりへの参加



シーカヤック大会への参加



地域美化推進運動



グラウンドゴルフ大会の開催

その他の主な取組み

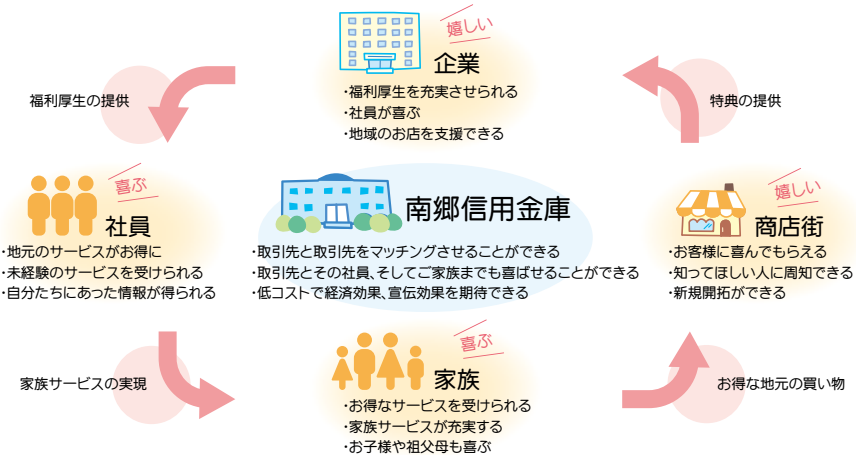
- 視覚障がい者に配慮した金融サービスの提供
- AED（自動体外式徐細動器）の設置
- 地域で開催されるイベントや祭りへの参加、協賛金の提供
- 店舗周辺道路の清掃、公園・広場の美化活動
- ボーイスカウト活動への支援 など

「聯域共生」一人制度

27年7月から、地元商店にご参加をいただき、商店街の集客力アップや地域の中で

その主な取り組みは、オリジナル情報誌「しんきん感」を定期的に発行し、地域のイベント紹介やお得な生活情報の提供、有利な金融商品のご案内を継続的に発信しております。

今後も、こうした活動を通じて活力ある街づくりに向け、積極的に取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



子育て応援プラン **なんしん** 子育て応援 **ローン**

【期間】平成30年4月2日(月)～平成31年3月29日(金)

個人ローン 基準金利より 1.00% 優遇	教育ローン 基準金利より 0.60% 優遇
教育カードローン 基準金利より 0.50% 優遇	フリーローン 基準金利より 0.50% 優遇

※詳しくは、お近くの南郷信用金庫各支店・出張所までお問い合わせください。

子育て応援プラン **なんしん** 子育て応援 **定期積立**

【期間】平成30年4月2日(月)～平成31年3月29日(金)

適用金利 **店頭表示金利の5倍**

お子様の未来のために

ご契約 プレゼント連発!

店舗のご案内

営業店自動機コーナー

地 区	店 舗 名	住 所	TEL	FAX	ATM		
					平 日	土・日・祝	振込機能
日南地区	本 店	日南市吾田東4-1-3	0987-23-1211	0987-23-1333	8:00～20:00	9:00～17:00	有
	目井津支店	日南市南郷町中村乙2537-1	0987-64-1131	0987-64-1202	9:00～20:00	9:00～17:00	有
	大堂津出張所 ※	日南市大堂津3-5-18	0987-27-0149	0987-27-1337	9:00～20:00	9:00～17:00	有
	駅前支店	日南市南郷町東町18-5	0987-64-1133	0987-64-1654	8:00～20:00	9:00～17:00	有
	油津支店	日南市園田2-1-25	0987-23-5315	0987-23-5316	8:00～20:00	9:00～17:00	有
	飢肥支店	日南市飢肥2-12-1	0987-25-1101	0987-25-1102	8:00～20:00	9:00～17:00	有
	北郷支店	日南市北郷町郷之原乙1429	0987-55-2222	0987-55-2223	8:00～20:00	9:00～17:00	有
串間地区	串間支店	串間市大字西方6556	0987-72-0401	0987-72-1301	8:00～20:00	9:00～17:00	有
宮崎地区	木花支店	宮崎市大字熊野10152-4	0985-58-1155	0985-58-1124	9:00～20:00	9:00～17:00	有
	田野支店	宮崎市田野町甲2877-14	0985-86-2333	0985-86-2334	9:00～20:00	9:00～17:00	有

※大堂津出張所は、平成30年7月2日より、窓口営業を11:30～12:30まで時間休止(窓口閉鎖)としております。

店舗外自動機コーナー

日南地区	日南ショッピングセンター	日南市材木町1番	無	無	9:30～20:00	9:30～19:00	無
串間地区	北方自動機コーナー	串間市大字串間1460-4	無	無	9:00～20:00	9:00～17:00	有

◆当金庫へのお問い合わせについて

- 当金庫に対するご意見・ご要望がございましたら、下記の相談窓口までお気軽にご連絡下さい。
- 南郷信用金庫「お客様相談室」 TEL0987-21-1115 FAX0987-21-1118

【URL】 <http://www.shinkin.co.jp/nanshin/> フリーダイヤル 0120-881-992



みんななかよし 親近 ハートフル なんしん

南郷信用金庫

〒887-0041 日南市吾田東4丁目1番1号
TEL.0987-21-1115 FAX.0987-21-1118
<http://www.shinkin.co.jp/nanshin/>